

～令和5年度飛騨市公民館講座開催レポート 第11号～

【花もちを作ろう！】

12月16日(土)に、毎年恒例となった飛騨伝統の正月飾りである「花もちかざり」を作る講座を開催し、6名に参加していただきました。講師は、河合町在住の中谷 和司氏にお願いしました。

今回も、餅はつかずに「もち米粉」を使って作ったもちを使った花もち飾りを作成しました。

飾りの土台には、楓の幹を使用し、ブナの木のを差し込んで固定します。そこに、もち米粉で作った赤と白の2色のもちを巻き付けます。もちは、粉と水を混ぜ、電子レンジで加熱してこねます。少しの食紅を足すと赤色のもちができます。

バランスを見ながら、それぞれ思い思いの位置にもちを巻き付けていました。うまく巻き付けることが出来ずに落ちてしまったり、大きすぎたりする参加者もいましたが、楽しそうにそれぞれの正月飾りを完成させていました。

参加者からは、「枝にもちがつかなくて苦労しましたが、自分なりに上手にできたと思います。」「水加減が少し難しかったですが、とても楽しく作れて感激です。」「もちをつかず粉とレンジでできて簡単でした。お正月かざりの準備ができました。」「といった感想がありました。

